



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月28日

上場会社名 田岡化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4113 URL <https://www.taoka-chem.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 佐々木 康彰
 問合せ先責任者(役職名) 事業支援室部長 (氏名) 勝本 泰仁 (TEL) 06-7639-7400
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,140	△8.7	203	△75.2	225	△73.1	131	△78.2
2022年3月期第1四半期	8,917	13.8	819	6.0	840	6.2	605	17.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 159百万円(△73.4%) 2022年3月期第1四半期 601百万円(13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	9.20	—
2022年3月期第1四半期	42.28	—

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	31,192	16,651	53.4
2022年3月期	32,417	16,749	51.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 16,651百万円 2022年3月期 16,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	90.00	—	18.00	—
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式分割を考慮した場合の2022年3月期の1株当たり第2四半期末配当金は18円00銭となり、1株当たり年間配当金は36円00銭となります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	△5.1	450	△75.4	450	△75.9	250	△81.3	17.45
通期	33,000	1.9	1,250	△53.8	1,250	△55.3	800	△61.2	55.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	14,440,000株	2022年3月期	14,440,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	111,140株	2022年3月期	111,140株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	14,328,860株	2022年3月期1Q	14,328,860株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であるとす
る一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は
様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたって
の事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測
情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は81億40百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて7億76百万円の減収となりました。

損益面におきましては、営業利益は2億3百万円（前年同四半期比6億15百万円減）、経常利益は2億25百万円（同6億14百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億31百万円（同4億73百万円減）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第1四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品事業部	5,481	61.5	4,199	51.6	△1,282	△23.4
機能材事業部	1,001	11.2	827	10.2	△174	△17.4
樹脂添加剤事業部	2,286	25.6	2,971	36.5	684	29.9
化学工業セグメント	8,769	98.3	7,997	98.3	△772	△8.8
その他	147	1.7	142	1.7	△4	△3.3
合 計	8,917	100.0	8,140	100.0	△776	△8.7

(注)当第1四半期より精密化学品部門は精密化学品事業部、機能材部門は機能材事業部となり、機能樹脂部門および化成部品部門は樹脂添加剤事業部へと統合しております。前年同四半期につきましては、変更後の数値で比較しております。

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、79億97百万円となり、前年同四半期と比べて7億72百万円の減収となりました。

(精密化学品事業部)

農薬中間体の出荷数量は増加したものの、樹脂原料の出荷数量が減少したため、売上高は41億99百万円となり、前年同四半期と比べて12億82百万円の減収となりました。

(機能材事業部)

接着剤およびゴム薬品ともに出荷数量が減少したことにより、売上高は8億27百万円となり、前年同四半期と比べて1億74百万円の減収となりました。

(樹脂添加剤事業部)

可塑剤や紙用加工樹脂の出荷数量は減少いたしました。ワニスの出荷数量が中国での販売開始もあり増加したこと、可塑剤やワニスの原料価格の高騰に伴う販売価格の上昇の結果、売上高は29億71百万円となり、前年同四半期と比べて6億84百万円の増収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌調査や作業環境測定などで減少したため、1億42百万円となり、前年同四半期と比べて4百万円の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて15億78百万円減少し、162億58百万円となりました。これは、現金及び預金の増加を売掛金や商品及び製品の減少が上回ったことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて3億53百万円増加し、149億34百万円となりました。これは主として新多目的プラント(N-2)の建設による増加です。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産額は311億92百万円となり、前連結会計年度末と比べて12億25百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、設備関係未払金は増加したものの、買掛金が減少したことから、前連結会計年度末と比べて10億85百万円減少し、110億76百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて41百万円減少し、34億64百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて11億26百万円減少し、145億41百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて98百万円減少し、166億51百万円となりました。これは、主として利益剰余金において配当の実施による減少が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日公表数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,630	1,486,756
受取手形	145,757	130,802
売掛金	5,923,035	5,121,434
商品及び製品	6,841,634	5,760,529
仕掛品	294,728	153,198
原材料及び貯蔵品	2,899,348	3,333,341
その他	1,013,877	272,588
流動資産合計	17,837,013	16,258,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,239,077	9,255,795
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,733,755	△5,794,004
建物及び構築物(純額)	3,505,321	3,461,790
機械装置及び運搬具	22,529,560	22,703,667
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,223,707	△19,377,707
機械装置及び運搬具(純額)	3,305,852	3,325,959
建設仮勘定	4,300,548	4,740,120
その他	4,040,261	4,092,149
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,915,584	△1,968,197
その他(純額)	2,124,676	2,123,952
有形固定資産合計	13,236,399	13,651,822
無形固定資産	60,421	62,460
投資その他の資産		
その他	1,284,642	1,220,474
貸倒引当金	△700	△700
投資その他の資産合計	1,283,942	1,219,774
固定資産合計	14,580,764	14,934,057
資産合計	32,417,778	31,192,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,640,679	5,324,644
短期借入金	8,150	8,700
1年内返済予定の長期借入金	320,000	245,000
未払法人税等	189,981	12,950
賞与引当金	508,155	251,021
設備関係未払金	3,682,326	4,219,294
その他	813,369	1,015,279
流動負債合計	12,162,662	11,076,891
固定負債		
長期借入金	480,000	450,000
退職給付に係る負債	2,627,260	2,621,493
その他	398,611	393,182
固定負債合計	3,505,872	3,464,675
負債合計	15,668,534	14,541,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	14,095,496	13,969,454
自己株式	△39,513	△39,513
株主資本合計	16,636,739	16,510,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,011	48,787
為替換算調整勘定	47,360	75,798
退職給付に係る調整累計額	19,131	15,858
その他の包括利益累計額合計	112,503	140,444
純資産合計	16,749,243	16,651,140
負債純資産合計	32,417,778	31,192,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,917,067	8,140,157
売上原価	7,191,000	7,080,286
売上総利益	1,726,067	1,059,870
販売費及び一般管理費	906,742	856,387
営業利益	819,324	203,483
営業外収益		
受取利息	827	191
受取配当金	15,444	16,597
その他	5,514	11,638
営業外収益合計	21,785	28,427
営業外費用		
支払利息	783	978
為替差損	—	4,939
その他	90	28
営業外費用合計	874	5,947
経常利益	840,235	225,963
特別損失		
固定資産除却損	1,056	1,503
特別損失合計	1,056	1,503
税金等調整前四半期純利益	839,179	224,459
法人税、住民税及び事業税	158,630	28,835
法人税等調整額	74,732	63,747
法人税等合計	233,362	92,582
四半期純利益	605,816	131,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	605,816	131,877

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	605,816	131,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	849	2,775
為替換算調整勘定	△151	28,438
退職給付に係る調整額	△4,798	△3,273
その他の包括利益合計	△4,100	27,940
四半期包括利益	601,715	159,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	601,715	159,817
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差額の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰り延べております。